



現役の活動状況

男子

顧問 堀川 美子 (27期生)

第69回高校秋季総合体育大会(オープントーナメント方式)

8月10～15日 参加校70チーム

- 2回戦 ○ 寝屋川 21 — 11 鳳
- 3回戦 ● 寝屋川 12 — 12 茨木
- 7mスローコンテスト 2 — 3

第66回高校新人大会、兼、第38回全国選抜予選大会

10月25～11月3日 参加校67チーム

[北ブロック大会・リーグ戦]

- 寝屋川 17 — 16 淀川工科
- 寝屋川 18 — 12 香里丘

[北ブロック大会・トーナメント]

- 1回戦 ○ 寝屋川 15 — 13 都島工業
- 準々決勝 ● 寝屋川 7 — 31 枚方

(大阪府中央大会・出場ならず)

現在の2年生(68期生)が、1年生の時は、67期生との力の差が大きかったので、練習なども、ついてくるのが大変だったと思います。

夏休みの合宿や、その後の練習試合なども、1年生チームで対戦しますが、なかなか勝てませんでした。

2年生になる春休みのノートに、「今日の試合では、普段練習していることを、絶対やろうと話し合った。それがうまく行って、その後も調子がよくなって、勝てた。」と、書いていました。

また、「アップをしてなくて、突然試合と言われ、身体が動かなかった」など、自分たちのダメなところを、冷静に判断できているなど、当たり前なことなのに、驚かされました。

試合に「勝つ」には、①アップをしっかりする、②試合前に、「こういうことを、しよう!」と、話し合う。

その結果、手も足も出なかった3年生(67期生)とも、試合になってきていました。

3年生は、力があつたものの、春のリーグ戦で敗退し、全員が引退しました。

秋季大会に向けて、新チームでの練習が、始まりました。

春休み以降、日に日にチームとして、まとまってきているのが、感じられました。

夏休みには、例年通り、兵庫県の但馬ドームでの合宿。

そこで、問題な考え方が、起こりました。

相手が、少し強いと感じると、「今までのような対応では、勝てないから、何とかしなければ・・・」と、話し合うことなく、闇雲に、部員たちそれぞれが、勝手な行動に出てしまうという、状況です。

その後も、いろんな学校から、練習試合に誘っていただき、部員たちの成長に、驚かされるのが、多くなりました。

しかし、部員たちで、試合毎に話し合っているときは、成果が見られるものの、突然、「何とか、しなければ・・・」に陥ると、もうその試合中では、修正できずに、終わってしまうという状況も、相変わらず、現れます。

8月秋季大会では、鳳高校との試合が、初戦。

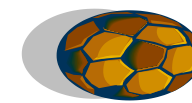
バタバタしながらも、勝利。

続いて、前評判の高かった、茨木高校戦。

この試合では、部員が一丸となって、点を取られたら取り返すという、緊張感のある試合が、展開されました。

選手たちは、気持ちよく戦い、応援に来てくださっていた保護者も、興奮の連続でした。

結局、同点で、7mスローコンテストに持ち込みましたが、その時に、「どこ打ったら、いいんやろ?」という、気の弱さが出てしまい、勝ちにつながりませんでした。



10月新人戦では、抽選が行われる直前に、練習試合をした、淀川工科高校と香里丘高校と、同じリーグで戦うことになりました。

練習試合で、楽に勝っていた淀工、主力選手が、鼻骨骨折で休んでいたとはいえ、ボロボロにやられた香里丘。

また、今年から寝屋川高校の体育大会の日程が、10月後半に変更になり、体育大会翌日に公式戦、それもダブルの試合という、最悪の日程になってしまいました。

初戦の淀工戦では、練習試合で勝っていたので、気が緩んでいたようで、ボールが手につかず、ドタバタした、試合内容でした。

自分たちのミスから、相手に点を与えてしまい、最後まで引き離せず、からくも1点差で、勝利を手に入れました。

続く、香里丘戦では、選手たちも、以前の練習試合で負けているので、緊張感と集中力が、高まっていたようです。

前半は、一進一退の攻防が続き、同点で後半を迎えました。

後半になって寝屋川は、昨日の体育大会の影響が始め、足がつる選手が、出てきました。

また、相手選手へのディフェンスの際に、一歩出遅れて、接触し、退場になることが、多くなりました。

その時に、相手に点を取られず、引き離されなかったことと、7mスローを取られたときに、相手がラインクロスを取られたことで、こちらに風向きが変わり、勝利を手に入れました。

モチベーションが上がったまま、トーナメント1回戦の都島工業戦を、迎えました。

力は、同じくらいのチームらしいという情報のもと、試合が始まりました。

ここでも、前半選手たちが、「何とかしなければ・・・」の状態に陥りかけ、ドタバタして、相手チームにリードされていました。

何とかタイムアウトで、指示した通りのプレーができ、同点で前半を終了することが、できました。

後半は、ムードもよくなり、リードし、接戦の末、勝利し、準々決勝に、駒を進めました。

これに勝てば、大阪府中央大会に出場できるのですが、相手は枚方高校で、秋季大会でも結果を残した、よいチームで、実のところ「勝つのは、難しいな」と、思っていました。

選手たちは、「勝ちたい!」と、思うものの、最悪の「何とかしなければ・・・」と、思うだけで、いつも通りの動きができず、私のベンチから叫ぶ声も、全く無視で、ただ、必死で走り回っていました。

今まで練習でできていたことも、何もできないまま、大差をつけられて、終わってしまいました。

初心者集まりで、一人一人に、特別な力があるわけではありませんが、「みんなで戦えば、相手に立ち向かって行ける、チームになろう!」を目標に、また、一から頑張っていきます。

1年生も、秋休みに2年生が修学旅行に行っている間に、集中して、練習できたおかげか、その後の練習では、積極的で、力もついてきています。

これから、来年の4月まで、たくさん時間があるので、身体も心も、どれだけ鍛えられるか、楽しみです。





女子

顧問 赤星 明

第69回高校秋季総合体育大会(オープントーナメント方式)

8月10～15日 参加校41チーム
2回戦 ● 寝屋川 17 — 35 好文学園女子

第66回高校新人大会、兼、第38回全国選抜予選大会

10月25～26日 参加校40チーム
[北ブロック大会・リーグ戦]
○ 寝屋川 22 — 8 四条畷
● 寝屋川 8 — 11 春日丘

秋季大会は、2回戦で大阪府中央シードの、好文学園と対戦しました。

好文学園は、3・3のディフェンスをやってきました。

フォーメーションができず、1:1の力もないまま、ミスも多く出て、力を出し切れず、負けました。

しかし、1年生が、良くがんばってくれました。



大きな期待をしていたのですが、新人戦の2週間ぐら
い前に、期待していた1年生が、勉強のために、退部しました。

中学の時の、バスケットボール経験者で身長165cm、エースポジションを任せていたのですが、結果的に、この事がひびきました。

攻撃の左フローターに、誰を使うか、守りのトップディフェンスを
どうするか、試行錯誤の連続でした。

ポジションを、とっかえひっかえして、試合に臨みました。

春日丘高校には1人、中学でJOCに選ばれている選手がいました
が、1年生だったので、あまり怖くはなかったのですが、結果的にその
選手に、後半振り回された、展開になりました。

前半は、ノーマークを何本もミスをして、6:5で折り返しました。

この時に、もう少し点差をあけていれば、展開も違ったのと思
います。

後半すぐに、相手に連続に得点を許し、逆転されました。

生徒は焦ってしまい、オーバーやパスミスなど、多くの反則やミ
スを繰り返して、追いつけませんでした。

普段のシュート練習の、甘さが出た試合でした。

女子の試合は、本当にどうなるか分からないものだと、思いま
した。

あせってくると、ディフェンスの約束事も忘れ、点を取りに行くこ
とばかり考えて、守りがおろそかになりました。

悪い流れを断ち切れず、ずるずると、試合時間が過ぎました。

来年春のインターハイ予選の、シード権を逃したのは7年ぶりぐ
らいで、選手たちは、本当に先生や、先輩に申し訳ないと、泣いて
いるものもいました。

しかし、「ここから、また1から出直そう、シードは取り返せる、
君たちのこれからの、半年の努力しただい」と言って、がんばらせ
ています。

半年後の春に、どれだけ伸びるか、楽しみにしています。

新チームの、紹介・抱負

男子キャプテン 2年生 末次 健太郎

私たち男子は、2年生11人、1年生12人、マネージャー3人の、
計26人で、毎日頑張って、練習しています。

3年生の先輩が、試合で見せる素早い速攻、攻撃的なディフェンス、
相手に走り勝つプレーを見て、「すごいなあ、自分たちもやりたい
なあ」と思いながら、応援してきました。

その先輩方は、春の大会で、枚方高校と対戦しました。

相手は、寝屋川を知り尽くしており、苦しい試合となりました。

先輩方は、最後まであきらめずに戦っていましたが、勝利するこ
とができず、悔し涙を流され、引退されました。

新体制となり、僕たち2年生は、練習試合も少しずつですが、勝
てるようになりました。

1年生も上達し、スピードが速く、追いつかれないようにと、2年
生も気が抜けません。

それぞれ、個人の能力は高くはありませんが、先輩から学んだ、
「チーム力で勝つ」ということを目指し、頑張る練習をしていま
す。

夏の大会では、鳳・茨木高校と対戦し、茨木高校とは、7mスロ
ーコンテストまでもつれ込み、勝ちを逃してしまいました。

新人戦では、リーグ戦で、淀工・香里丘高校と対戦し、接戦の末、
勝利することができました。

次の都島工業高校戦では、試合の流れを、自分たちのものにする
ことができ、勝つことができました。

あと1回勝てば、大阪府中央大会というところで、枚方高校と対
戦しました。

相手の勢いに吞まれ、基本的なことができず、負けてしまい、課
題が多く残る試合となりました。

OB・OG会の援助で、体育館での練習ができたり、物資補助を
していただき、大変良い環境で、練習ができています。

本当に、感謝しています。

だからこそ、もっと練習して、自分たちの弱点を克服し、悔いの
ないよう、全力で練習に取り組んでいこうと、思います。

女子キャプテン 2年生 足立 実央

私たちは、2年生12人、1年生13人、マネージャー5人の、計30
人で、毎日活動しています。

大好きだった3年生が、ハンドコートから姿を消し、新チームと
しての活動が、始まりました。

夏の合宿では、勝っていくたびに、私たちのリズムがつかめてい
き、有意義な合宿となりました。

夏の大会では、好文学園女子高校とあたり、大阪府中央大会常連
校というだけで、名前負けしてしまいました。

新人戦では、練習試合では負けたことのない、春日丘高校と当
りました。

誰もが、勝つと思っていましたが、ディフェンスの甘さと、ミス
の多さから、相手に点を与えてしまい、負けという結果に、繋が
ってしまいました。

これから、長い冬が来ます。

一からのスタートとなるので、気持ちを改めて、毎日の練習に励
みたいと思います。

今はまだ、他のチームより劣っている所の方が多いですが、よい
プレーも、たくさんあります。

目標である、近畿大会に向けて、今の結果を、しっかり受け止め、
全員でチームを盛り上げ、楽しくて仕方ないくらいの試合ができ
るように、していきたいです。





第22回 総会報告

2013年度のOB・OG会総会が、8月23日（土）、盆サマーハンドボールに先駆けて、午後3:00からセミナーハウス（旧、北水会館）3階で開催され、下記の議題が討議、承認されました。

〔議題〕

- 21期（平成25年度）活動報告
- 21期（平成25年度）会計報告
- 21期（平成25年度）監査報告
- 22期（平成26年度）活動計画（案）
- 22期（平成26年度）予算（案）

日時	活動	会場	参加者
2013 7 13 土	会報発行	寝屋川高校・セミナーハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	6名
8 17 土	第21回OB・OG会総会	寝屋川高校・セミナーハウス	15名
〃 〃	盆サマーハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	80名
10 5 土	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	8名
11 30 土	会報発行	寝屋川高校・セミナーハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	6名
2014 1 11 土	正月ハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	65名
〃 〃	新年会	寝屋川高校・セミナーハウス	68名
2 28 金	66期生（2014.3月卒業）OB・OG会入会式	寝屋川高校・セミナーハウス	23名
5 17 土	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	8名

6. 22期（平成26年度）役員体制

第22期（平成26年7月1日～平成27年6月30日）活動計画（案）

日時	活動	会場	参加者
2014 7 12 土	会報発行	寝屋川高校・セミナーハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	6名
8 17 土	第22回OB・OG会総会	寝屋川高校・セミナーハウス	10名
〃 〃	盆サマーハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	92名
10 4 土	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	7名
12 6 土	会報発行	寝屋川高校・セミナーハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	名
2015 1 10 土	正月ハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	名
〃 〃	新年会	寝屋川高校・セミナーハウス	名
3 6 金	67期生（2015.3月卒業）OB・OG会入会式	寝屋川高校・セミナーハウス	名
5 16 土	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	名

平成25年度収支報告書
(H25. 7. 1～H26. 6. 30)

(単位：円)

項目	金額	摘要
(収入の部)		
前期繰越金	297,263	
会費収入	278,000	25年度 @5,000×55名 @3,000×1名
特別会費	18,000	ナイターハンド会費 @500×21名 新年ハンド会費 @500×14名
雑収入	109	貯金利息109円
計	593,372	
(支出の部)		
事業費	65,194	ナイター会食費 33,014円 新年ハンド会食費 27,632円
援助金	50,000	現役援助金他
通信費	133,818	各種案内郵送料
会議費	0	
運営費	86,816	封筒代他 79,596円、HP運営費 7,220円
備用品費	1,856	事務用品
雑費	15,123	広告料(近畿大会) 10,000円、郵便振替手数料他 5,123円
慶弔費	0	
記念事業積立金	0	
計	352,807	
差引剰余金	240,565	

記念事業積立金 (単位：円)

項目	金額	摘要
前期繰越金	820,000	
繰入金	0	
取崩金	0	
翌期繰越金	820,000	

以上、平成25年度の収支報告を致します。
寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会
会計 井上 武久 ㊟

上記の収支報告書は、平成25年度の収支の状態を正しく表示していると認めます。
平成26年7月31日
寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会
会計監査 今堀 太逸 ㊟
吉田 雅子 ㊟



平成26年度予算書(案)
(H26. 7. 1～H27. 6. 30)

(単位：円)

項目	金額	摘要
(収入の部)		
前期繰越金	240,565	
会費収入	350,000	26年度@5,000×70名
特別会費	15,000	
雑収入		
計	605,565	
(支出の部)		
事業費	120,000	ナイター・新年ハンド会食費他 68,000円 OB・OG会入会式 52,000円
援助金	50,000	平成25年現役援助金50,000円
通信費	136,000	各種案内郵送料
会議費	0	
運営費	55,000	会報作成費・HP維持費他
備用品費	5,000	事務用品他
雑費	19,800	振替手数料、広告料他
親睦会活動費	200,000	
記念事業費繰入金	0	
計	585,800	
差引剰余金	19,765	

〔平成26年度役員〕 50名

- | | | |
|--------|---------------|--------------|
| 会長 | 寺西 啓三 (20期) | |
| 副会長 | 菊地 和代 (21期) | 小合 省三 (24期) |
| 幹事長・会計 | 井上 武久 (23期) | |
| 幹事 | 谷村 千津子 (18期) | 木村 慶次 (18期) |
| 〃 | 小森園 多恵子 (22期) | 古本 まみ (22期) |
| 〃 | 甫田 裕佳里 (29期) | 久木 久美子 (33期) |
| 〃 | 大塚 万里子 (33期) | 稲葉 清志 (43期) |
| 〃 | 谷 和哉 (44期) | 中東 大輔 (58期) |
| 〃 | 北崎 千咲子 (59期) | 田村 英明 (59期) |
| 〃 | 西岡 笑子 (62期) | 佐竹 友貴 (62期) |
| 〃 | 立山 茜 (62期) | 藤澤 美穂 (63期) |
| 〃 | 河野 あゆみ (63期) | 東別府 朋子 (63期) |



会計よりの、お知らせ

井上 武久(23期)

会員の皆様には、平素より本会の運営に、ご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

次掲の、平成26年度(平成26年7月～27年6月)の会費納入のご協力をいただきました方には、あらためて御礼申し上げます。

尚、表は平成26年11月1日現在で作成しておりますので、それ以降に納入の方の未掲載につきましては、ご容赦願います。

今後とも、本会の発展、並びに、円滑な運営を行う為、年会費の納入につきまして、会員各位のご協力を、よろしくお願いいたします。



払い込みは、同封の郵便振替払込書、又は、銀行振込みでお願いいたします。

・郵便局利用

口座番号 01100-6-73829

加入者名 寝屋川クラブ

(注)金額欄には、「¥」を書かないで下さい。

この振込用紙には、通信欄もありますので、会の運営に對しての、ご意見や近況報告など、お書きください。

・銀行振込利用

振込銀行 住友銀行 川西支店

口座番号 普通預金 1011226

口座名義 寝屋川クラブ 井上武久(イノウエ タケヒサ)

・年会費：社会人 5,000円

学 生 免除(正月、盆サマーハンドへの参加を優先する、運用上の特別扱いとします。)

平成26年度(2014.7～2015.6月)

会費納入者

平成 26.11.1 現在

3期 睦月欣子 村田芳子 梅垣修三 中嶋直彦

5期 松本由紀子 樋上重夫

6期 望月滋乃 川瀬新吾

〃	四 田 裕 則 (63期)	山 里 順 也 (63期)
〃	山 本 幸 夫 (63期)	嶋 戸 美 音 (64期)
〃	穂 谷 美 緒 (64期)	樋 渡 梨 奈 (64期)
〃	湯 川 広 樹 (64期)	青 木 達 哉 (64期)
〃	新 本 崇 順 (64期)	田 村 佳 太 (64期)
〃	井 上 貴 子 (65期)	山 崎 史 帆 (65期)
〃	篠 原 英里子 (65期)	吉 本 実奈美 (65期)
〃	西 垣 智 哉 (65期)	妹 尾 直 樹 (65期)
〃	富 岡 浩 紀 (65期)	花 光 真 紀 (66期)
〃	古 川 七 海 (66期)	天 日 菜津子 (66期)
〃	中 川 諒 (66期)	佐 藤 昇 五 (66期)
〃	永田屋 悠 人 (66期)	
会計監査	今 堀 太 逸 (21期)	吉 田 雅 子 (29期)
相談役	津 熊 美智子 (18期)	大 森 孝 志 (31期)
〃	田 中 裕 一 (31期)	



2014年 盆サマーハンド 報告

副会長 小合 省三(24期)

今年も、ハンドボール部OB・OG会恒例の、盆サマーハンド・懇親会が、8月23日(土)、OB・OG会総会終了後、現役を含む92名の参加により、開催されました。

最初に、現役とOB・OGとの、親睦試合を行いました。

今回は、多数の若手大学生のOB・OGの参加があり、活気のあるゲームとなりました。

その後、グラウンドで懇親会をする予定でしたが、準備・進行時間の変更により、北水会館で、恒例のビンゴゲームで懇親会を行いました。

景品を受け取る時には、一人一人名前と出身中学の紹介と、一言抱負を語っていただきました。

特に、現役には寝屋川高校ハンドボール部での活動が、自分の人生の中で素晴らしい経験なること、また、長らく続けられているOB・OG会の支援がありがたく、自分が卒業後OB・OGになった時には、OB・OGとして現役に対する、支援・協力をしていただきたいと、お願いいたしました。

さて、寝屋川高校ハンドボール部のOB・OG会には、卒業したての方は来られますが、その後の参加が続かない。

それで無い知恵を絞って、夏と冬の盆・正月ハンドのあと「1,000円で飲み放題食べ放題」の2次会も行っていますが、思ったほどの効果は、ございませんでした。

やはり若いOB・OGの方々が、共にプレーをする等の活動をしたり、現役の試合の応援に行ったりすることの方が、道が開けそうな気がします。

現在、寝屋川高校ハンドボールOB・OGの取り組み活動として、女子部のモッピークラブが活動されています。

今後、たまにはハンドボールをやってみようかなという方は、是非、ご連絡ください。

又、今後、OB・OG会のようなご協力をしたらいいかも、お聞かせください。

2015年 新年正月ハンドボールのご案内

現役男女が元気で

OB・OG 皆さんの、多数の参加をお待ちしています

今年度も、新年恒例の「正月ハンドボール」を、下記のとおり開催いたします。

8月の「盆サマーハンドボール」と共に、年2回のOB・OGと現役との親睦をはかる、長年続いてきた大切な行事です。

久しぶりにハンドボールに触れ、親睦試合後(応援だけでも結構です)温かい豚汁などいただきながら、恒例のビンゴゲーム等での新年会を計画しております。

一人でも多くの方々に参加していただき、大勢のパワー溢れる現役と共に、ハンド仲間の楽しい激励・交流会にしましょう。

同級生・先輩・後輩方に声を掛け合い、お誘い合わせの上、是非ともご参加下さい。

日 時：2015年1月10(土)

親睦試合：12:00～14:30 ハンドボールコート

新年会：15:00～16:30 セミナーハウス(旧、北水会館)3階

会 費：500円

2次会：がんこ寿司・寝屋川店

<雨天の場合>

新年会：12:00～14:00 セミナーハウス(旧、北水会館)3階



- 7期 金馬桂子
- 9期 長澤邦子
- 12期 尾亀敬子
- 13期 土井利勝 平井謙二
- 15期 小倉裕子
- 16期 木野実
- 18期 木村圭子 谷村千津子 津熊美智子 木村慶次
- 19期 竹守雅裕 吉田裕紀
- 20期 寺西啓三 香西安勝
- 21期 菊地和代 中西量子 梅垣三七子 今堀太逸 松尾信一郎
- 22期 小森園多恵子 古本まみ
- 23期 井上武久 葛木啓之
- 24期 小合省三
- 26期 地原繁信
- 27期 渡部安晴
- 29期 甫田裕佳理
- 31期 大森孝志 田中裕一
- 41期 安田郁
- 59期 北崎千咲子 泊智佳子



訃報連絡

- ①高女 29期 笥 かすみ (2013年逝去)
- ②高校 6期 東 恒夫 (2013年10月1日逝去)
- ③高校 19期 竹守 雅裕 (2014年9月18日逝去)
- ④高校 22期 糸永 正隆 (2014年4月逝去)

19期 竹守 雅裕先輩を偲んで

20期 寺西 啓三

今回の会報の編集をしていました11月中旬、竹守先輩の奥様より、突然、竹守先輩死亡のハガキを、頂きました。

高校卒業以来、長らく連絡が取れていなかった竹守先輩とお逢いしたのは、2012年11月の4代目顧問、望月伸三郎先生を語る会で、約45年振りのことでした。

その時、竹守さんは、「肺がん」で治療中であると、おっしゃっていました。

そして、今年の7月下旬、会報のリレー伝言板で同期20期井川さんの記事を見て、「なつかしく、今又、治療で入院しているが、会費振り込んでおくわ」と、少し息苦しそうなお声で、病院から電話をいただきました。

振り返りますと、竹守先輩と私は、同じ寝屋川2中の出身ですが、中学時代は団塊世代、人数も多く、話しをする機会はありませんでした。

現役時代、当時は男子は皆んな丸坊主でしたが、竹守先輩はモチベーション高く、一人鉢巻をし、ユニフォームを腕まくりし、ゴールキーパーとしてゲーム中も、後ろから我々フィールドプレイヤーに、大きな声で指示されていたのが、印象的でした。

卒業後は、同志社大学に行かれ、銀行に勤められた後、30才位の時に一念発起され、損害保険の鑑定人になられ、その後、日本鑑定人協会の会長までされたとのことでした。

私も仕事の関係で、竹守先輩とではありませんが、他の損保の鑑定人の人とお付き合いがありましたが、ビルディング、マンションから、工場建物、一般住宅までの、構造から損害認定、保険制度、相続、所有、税金、クレーム対応と、寝屋川高校ハンドボール部現役時代同様、モチベーション高く勉強されたのだと思います。

今後、お互い定年となり、時間が取れるようになったら、ゆっくり酒でも呑みながら、話しをしたいと思っていたのですが、非常に残念な思いです。

竹守先輩の、にこやかな顔を思い出しながら、ご冥福をお祈り申し上げます。

会報では故人の方を偲ぶ、現役時代の活躍の様子・エピソード、卒業後の模様、人柄が偲ばれる思い出話し等を、募っています。

次回発行の会報で、掲載させていただきます。

送り先は、今回の会報に同封の別紙「会員だより」を、返信用封筒(事務局・20期寺西 090-5887-8777)でお送りいただくか、下記メールアドレスにお寄せください。

枚方市星丘4-12-8 寺西 啓三 kkteranishi@yahoo.co.jp

OB・OGのハンドボール取り組み

[1] 第10回ウェルネス・ハンドボール・フェスタ報告

小合 省三 (24期)

2014年11月3日(月)に、寝屋川高校バンドボールOB・OG方が多く参加されています、NPO法人のウェルネス啓発センターの第10回ハンドボール・フェスタが、堺市金岡公園体育館にて、開催されました。

今年は、スケジュールの都合で、大阪と奈良の20チーム(9クラブ)のみの、参加となりましたが、210人もの選手の参加がありました。

毎年、進化している大会ですが、今年は、より皆さんの協力を得ることができました。

①得点記録係の協力

今までは、参加しているチームの皆さん(各チームの監督、コーチ、両親他)に、審判と得点掲示係を、お願いしています。今年も、得点記録の、お手伝いしていただきました。(個人名無しの記録にして、各チームの皆さんに、お手伝いしていただくことに、なりました。)

②時間の効率化

集合写真を、開催後すぐ実施し、終了時間の短縮を図り、参加の小学生の皆さんが、早くお家に帰っていただけるように、しました。

また、今回も多く寝屋川高校ハンドボール部OB・OGの方が協力してくださいました。

大会会長の新堂達夫さん(16期)、平井謙二さん(13期)、大会事務局長の加堂政則さん(14期)、谷村千津子さん(18期)、平井晴美さん(19期)、松尾信一郎さん(21期)、小野千秋さん(29期)、谷和哉さん(44期)達です。

今年は、不参加でしたが、例年拘わってくださった方に、実行委員長の赤星明さん(寝屋川高校顧問)、深水汎代さん(17期)、甫田裕佳理さん(29期)、大塚万里子さん(33期)が、いらっしやいます。

他に、寝屋川高校卒業のウェルネス会員の方が、8名おられます。合計21名の方が、ご協力くださり感謝しております。

私は、小学生のハンドボールプレーを見て感動し、動けるなら、もう一度コートに立ちたいと、思いました。

また、応援も楽しいし、仲間も素晴らしいと、思いました。





そして将来、寝屋川高校でハンドボールをプレーしてくれたら、どんなに嬉しいだろう！と、胸が時めきました。

さて、来年は、どんなスーパースターが現れるか！、今から楽しみです。

[2] ハンドボールマスターズ大会報告

モッピークラブ 吉田 雅子 (29期)

今年は、8月1日～3日、沖縄でマスターズ大会が行われ、我がモッピークラブも、参加しました。

青い空、美ら海、ハイビスカス、マンゴーにパイナップル・・・沖縄での開催は、初めてで、沖縄開催が決まった一年前から、試合だけではなく、観光も楽しみにしていました。

さてさて、今年のマスターズ大会はといいますと・・・大会2日前から、台風上陸により、天候は大荒れ・・・しかたなく、現地入りを断念したメンバー、飛行機の欠航で、後の便に苦労して乗り、夜中に到着した、メンバーもいました。

また、レンタカーの故障で、試合数分前にタクシーで滑り込みセーフという、アクシデントもありました。

が、なんとか無事に、試合を終えることができました。

今年は、摂津クラブ(大阪)、武蔵野クラブ(東京)、マミーズ(沖縄)と対戦し、結果は1勝2敗の成績でした。

一方、オフはといいますと・・・観光名所を回り、泡盛を飲み、郷土料理を食べ、お土産を買い求め(実は、こちらの方が楽しかった?)と、沖縄を満喫しました。

来年は、豊田(愛知県)での、開催です。

モッピークラブは、津熊美智子監督(18期)・寝屋川高校OGを中心に、いつまでもハンドボールを楽しみたい人達(35歳～67歳、ときどきもっと若い方たちも)が、集まって活動をしています。

現在は、忙しいのと、体育館(寝屋川市民体育館)が思うように予約できないのと、大会前に練習をする程度です。

参加者が増え、練習場所が確保できれば、もっと活動できるのですが...

久しぶりに、体を動かしてみようかな?と、思われましたら、一緒にハンドボールをしませんか?

誘いあって、来てください。

また、練習場所情報ありましたら、教えてください。



会員だより

16期 新堂 達夫

「ミニ情報」

今夏、13期～17期(男子)の「交流会」を、開きました。

8月6日(水)・7日(木)の一泊二日で、長野県蓼科にて、開催しました。

参加者は、13期生平井謙二、14期生加堂政則、16期生木野実・多賀谷博康・柴田重勝・新堂達夫、17期生川口宗一郎の、7名でした。

蓼科は、関西の猛暑とは大きく違って、夜は涼しすぎるくらいでした。

私自身は、NPO法人「ウエルネス啓発センター」の活動で、加堂先輩と最低月一回は顔を合わせて、会議や諸活動で、ご一緒させていただいています。

平井先輩は、「ウエルネスハンドボールフェスタ」の際に、毎年顔をのぞかせてくださるので、その時に、お話をさせてもらっています。

木野君はこの数年、京都大学ハンドボール部のコーチをしていたので、時たま、顔を会わせることができました。

しかし、多賀谷君・柴田君・川口君とは、本当に久しぶりの、再会でした。

集まった所は、加堂さん所有の別荘で、中央自動車道「諏訪IC」から、一時間余りのところにあつて、自然一杯で、あちこちに温泉がある、素晴らしい場所です。

その夜は遅くまで、昔懐かしい思い出話に、花を咲かせましたが、その時は、全員が半世紀前の高校生に戻っていました。

そして、お互いが元気に顔を会わせることができる幸せを、実感したものです。

来年は、もっと多くの人たちが集まることできれば、もっと楽しいだろうなど、思った次第です。

41期 谷中 真砂子(旧姓、山本)

41期生の「ちよ」こと、谷中 真砂子(旧姓、山本)です。

現在は、2児の母(♀:小学2年生、♂:4才)で、毎日、子育てに奮闘中です!!

子供のパワーは、本当に凄いです。

高校を卒業して、25年が経ち、今では、ハンドボールをしていた頃が、遠い昔のようです。

今回、会報のリレー伝言板を読まさせていただいて、皆さんのハンドボール時代の心温まるエピソードが、ちょうど私の思い出と、重なりました。

64期生の方が、とても仲が良く、年に何回か集まっているという文面に、「あー、私たち41期生と同じだな♥」と、思いました。

今でも、私たちは、年に何回か、ママ会を開いており、子育てや教育の話し、そして、ダンナさんの愚痴(?)などで、盛り上がっています。

時代が変わっても、寝屋川ハンドボール部の話しは変わらず、「スポーツ根性」と「仲間大切さ」を養ってもらえる、素敵な場所なんだな・・・と思い、感動しました。



リレー伝言板

19期 吉田 裕紀

いつも見ていた寝屋川高校ハンドボール部

マドンナ谷村先輩(18期)、後輩(20期)の寺西会長と井川氏から、寄稿せよとの、お達しを頂きました。

これは荷が重いぞ、大変だ逃げてやれと、とんずらを一旦は決め込んだが、「それじゃ、全く成長してないじゃないですか」と、井川からの指摘が癪なので、キーボードを叩いています。

援軍としてのビートルズを、聴きながら叩いています。

ビートルズといえば、18期の木村慶次さんです。

スポーツ・音楽・勉強すべて良しで、一般生徒の女子後輩からの憧れでした。

同じ18期の松田さん・流川さん・中村務さん・頼さん、今思えば、素敵なカッコイイ学年でした。

先輩方の丁々発止を聴いていましたが、あれが青い春だったんですね。

近畿大会に、連れて行ってくださいましたことを、半世紀ぶりに御礼申し上げます。

さて、我々花の19期生ですが、古堅・竹守・赤井・赤松・吉田と、優秀な人材の軍団でした。

キャプテン古堅のリーダーシップの基に、見事に戦いました。



32期 山本 千春

高校を卒業して、ハンドボールと関わりのない生活をしています。社会に出て経験を積んでいく中で、当時、ご指導いただいた先生方の言葉の意味を、身をもって知ることがよくあります。

前回、岩本君(32期)も書いていた、初芝高校との試合のときは、特に印象深く、折に触れ、よく思い出していました。

当時、マネージャーをさせていただいていたのですが、その時は、チームの調子が良く、私は強豪の初芝が相手でも、いい試合をしてくれる、勝てるかもしれないと、期待していました。

でも、実際試合が始まると、それまでの試合で見せていた、力強いプレーとは全然違い、自信なさそうなプレーに、「なんで?!」、「どうしたん?!」と、はがゆく思いながら、声援を送っていました。

前半戦が終わると同時に、北岡先生の今まで聞いたこともない、怒りの声が飛びました。

「気持ちで負けて、どないするんや!!!」。

その後の後半戦で、皆さんが活躍する姿を、目の当たりにしたので、気持ちの持ち様の大切さが、心底身にしみました。

日々の生活の中でも、仕事の中でも、弱気になって引っ込んでしまいそうになると、あのときの北岡先生を思い出し、「あかん、あかん。しっかりしないと。」と、自分を叱咤して励んでいます。

この原稿を書かせていただくことで、いろいろと当時のことを思い出し、懐かしむ良い機会をいただきました。

「部活の後のお茶、今日は有るかな・・・」という、同期の部員のみんなの声さえも、よみがえってきてしまいました・・・。

なので、次号は、卒業後一度も顔を合わせていない、同期の岸君か寺岡君の、近況が伺えたらと思います。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



44期 塩出 常代 (旧姓、辰巳)

はじめまして、そして、ご無沙汰しております。

43期中町さん(かりんさん)から、引き継ぎました、44期の辰巳常代(くり)と、申します。

会報を、いつも楽しく、拝読させていただいております。

OB・OG会の役員の皆様、そして、いつもご尽力されている皆様、ありがとうございます。

お役に立てず、すみません。

今回、お話をいただき、昔のことを思い返しておりました。

誰しもが認める、戦いぶりでした。

そして、美しく散った、ほろ苦い青い春でした。

後輩の20期生の寺西・中出・井川・浜崎達には、とんと御無沙汰、失礼しております。

お元気ですか!!

後輩を語るには、まだその資格がなくて、お尻がムズ痒くなるので、遠慮させていただきますが、先輩・後輩達も60半ばと思うと、光陰矢の如し、万感ものであります。

それでは、次の伝言板ですが、同期の女子部で頑張っておられました、大西さんか、竹内さん、ご無沙汰ですが、よろしくお祈りいたします。

最後に、中出先生・望月先生、ご指導ありがとうございました。

未だ人生を語りませんが、中出先生・望月先生のご指導の延長線上に、存在できています。

栄光の寝屋川高校ハンドボール部の、益々のご発展を祈念し、ピートルズを聴きながら、伝言板を終了いたします。

P.S. I LOVE YOU



21期 梅垣 三七子 (旧姓、奥平)

あの「濃い時間」が残してくれたもの

同期の菊地さんから、電話で会報原稿依頼を受け、何か思い出があるかもしれないと、軽い気持ちで引き受けたのはよかったのですが、40数年前の出来事は、断片的にししか思い出せません。

それならいっそ、私自身がどんな思いで、ハンドボール部での3年間を過ごしたかを書こう、それなら現役世代に、言葉のひとつでも残せるかもしれないと思い直し、記憶を辿ることにしました。

私がハンドボール部に入部した理由は、枚方高校で中出先生の指導を受けて、ハンドボールを続けていた、兄の勧めがあったからと、小学校、中学校で同級だった細見さんと、「いっしょにハンドボール、やってみようか・・・」という話になり、あまり深く考えることも無く、入部を決めました。

中学時代に熱中していたバレーボールを、続けたい気持ちもあったのですが、物珍しい球技だし、やってみるか、くらいの甘い気持ちでした。

入部して、初めて寝屋川高校ハンドボール部の華々しい歴史を知り、そのときに感じた「これは、大変なことになった」という、暗澹たる気持ちは、今でも蘇ります。

というのも当時、私は母を病気で亡くし、父・兄と3人で暮らしていました。

家事をこなしながら、学校生活を送っていたのです。

ただでさえ、時間に追われる毎日に、部活が加わり、いったいどんな生活が待っているか、想像するだけで、うな垂れてしまいそうでした。

とは言っても、前言を翻すほどの勇氣も無く、朝の家事、授業中の睡眠、部活、夜の家事、机に突っ伏して居眠りの、サイクルを繰り返す、生活が始まりました。

当時は、今のように、便利な家電やサービスなど無く、部活を終え、重い足を引きずって、閉店間際のスーパーで買い物をして、ようやく家にたどり着いたら、食事の用意、洗濯・・・高校生としては、かなりハードな生活でした。

それに加え、運動部特有の指導法、上下関係・・・毎日が!・・?の、連続でした。

体調を壊し、見るに見かねた、担任の先生の退部の勧めを無視し、あの時、なぜ退部しなかったのか・・・今から思うと、それは、人とのつながりでした。

練習、試合で苦楽を共にした、チームメイトからの暖かい励まし、そしてなによりも、父子家庭を懸命に支えてくれている、寡黙な父を落胆させたくないという思いが、あと一歩のところまで、私を支えていました。

高校卒業後、バレーボールを15年余り、その後、夫婦と一緒にジョギングを30年近くと、生活の中にスポーツのある日々を、今でも続けています。

スポーツを通じて、たくさんの人と出会い、喜びを共にし、私自身の思い上がりや、至らなさを痛感し、本当に色んなことを、学ばせてもらいました。

そして、その基礎にはやはり、ハンドボールに明け暮れた、日々があります。

ハンドボールの技術・戦歴は、すっかり忘れてしまっても、「惰性でもいい、とにかく投げ出さず、続けることが、次の道につながっていく」と、学んだことを、今でも生かし続けています。

それと、もうひとつ大きな財産、それは多感な時期に出会い、苦楽を共にした仲間とは、何年も会っていなくても、声を聞くだけで、あつという間にタイムスリップできてしまう、不思議なつながりがあります。

これは、私の大切な宝物です。

思い返してみると、私の高校時代の「濃い時間」は、先生方、諸先輩、チームメイト、家族、友人、周りの大人達・・・たくさんの人達に、支えてもらっていたのだと、つくづく思います。

本当に、ありがとうございました。



当時、部活に入ることをためらっていたのですが、「学生時代にしか、経験できないのだから、入らなきゃもったいない」という、有り難い父の助言で、「別名、鉄人クラブやで、やっていけるの?」という、姉の心配をよそに、入部を決めました。

確かに、筋肉ムキムキになり、雨の中でも、どの部活よりも、遅くまで練習が続き、汗と涙にまみれながら、強いチームではなかったのですが、勝つ喜び、負ける悔しさ、みんなとの団結など、本当に貴重な経験ができました。

当時、怠け癖があり、教室まで、先生に迎えに来ていただいたり、グラウンドの周回をごまかしたり、他にも、皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。

この場をお借りして、改めてお詫びさせていただきます。
ごめんなさい。

今、私は神戸の灘区で、飲食店をしています。(かりんさん、お近くでしょうか?)

カフェ BAR で、「汽笛亭」と申します。

お近くの方がいらっしゃれば、ぜひ、お立ち寄りください。

お休みには、お客さんたちと作った、野球チームや、バトミントン部などで、あの頃はもっと動けたのに、などと思いながら、少しスポーツと、触れ合っております。

最後に、北岡先生、ご無沙汰しております。

結婚式にもご列席いただき、ありがとうございます。

顧問が、先生で良かったです。

ありがとうございました。

また、お会いしてくださいね。

つぎは、とてもお世話になりました、先輩キーパーの43期高橋真弓さん(まゆさん)か、ダメな私を見捨てずいてくれた、キャプテンの岡島由佳さん(まある)に、お願いしたいと思います。



64期 湯川 広樹

北村果奈さん(64期)に指名してもらった、64期の男子ハンドボール部部長、見る度にお腹の周りのお肉が増えていく、不思議な身体を持ち主の湯川 広樹です。

僕の青春は、ハンドボール一色でした。

勉強をした覚えは、ありません。

気さくで面白い先輩、後輩に囲まれて、厳しい練習を、ほぼ毎日していましたが、一度も、サボりたいと思ったことはありませんでした。

同期にも恵まれ、練習後には、まっすぐ帰ったことがないぐらい、毎日、寄り道をしていました。

64期は、誰が部長をしてもおかしくないほど、真面目の集まりで、練習をしっかりやっていたおかげで、練習試合もおもしろいくらい勝ち、あとは、結果を残すだけでした。

とても、順調でした。

しかし、幸せなことばかりでは、ありませんでした。

僕は当初、部長ではありません。

前部長は、けがのため退部をしてしまい、その後、続々とけが人が出てきました。

ある者は、足に手術するほどの、大けがを負い、ある者は、車にひかれ、歯がなくなり、指が折れ、エースまでもが、骨折をしました。

僕たちの代は、けがの多い年でした。

そのため引退試合では、万全な状態のメンバーで出られなかったためか、大阪府中央大会まであと一歩のところで、敗退しました。

今でも、負けた試合のことを、鮮明に覚えています。

「このチームで中央大会に行きたかった。恩師である加堂さん(14期)を、連れて行きたかった。」

試合終了後、そう思うと、悔しくて、涙が溢れてきたことを覚えています。

けがをした本人達は、僕たち以上に、悔しかっただろうと思います。

その悔しさのせいか、僕たちの代は、OBになった今でも、頻繁に現役の練習に、参加しています。

OB会も、かかさず参加しています。

現役のときの悔しさが、よりハンドボールを好きに、さしてくれました。

大学のサークル、社会人でハンドボールをしましたが、64期と共にするハンドボール以上に、楽しくできることはありませんでした。

何気なく、ハンドボール部に入部しましたが、今となっては、最良の選択をしたと、心底思っています。

長々と思い出を語ってきました。あと2つだけ付き合ってください。

まず、現役たちへ。

退部しないで、ください。

厳しい練習で、辞めたくなるかもしれませんが、辛いのは、今だけです。

耐えて、ください。

後々、いい思い出となり、いい経験となります。

あと、けがには、気を付けてください。

試合には、いつかは負けてしまいます。

後悔しないようにすることは難しいですが、けがで万全な状態で試合にのぞめないことほど、悔しいことはありません。

同期64期へ、頻繁にあっているのですが、特に言うことはありませんが、あえて言うなら、部長らしいことをあまりできてないなかで、最後まで支えてくれて、感謝していました。

ありがとう。

次の伝言者には、僕の1つ下の部長である、西垣君にお願いしたいと思います。



65期 山崎 史帆

64期生の嶋戸美音先輩から回ってきました、65期生の山崎史帆です。

ポジションは、キーパーをしていました。

何を書いたらいいのか、わからないのですが、書いていきます。

私は、背の高さで、キーパーをやろうと思い、キーパーになりました。

最初らへんは、みんなのシュートを、止めることができていたのですが、どんどん皆のシュートの速さが速くなるにつれて、止めることができなくなって、いきました。

どうしたらいいのかわからず、同じ代に、キーパーが私だけだったので、誰にも相談できずに、困っていたら、私の一個上の、キーパーのあさみ先輩が相談に乗ってくれて、とても熱心に、練習に付き合ってくれました。

あさみ先輩が、とても上手で、頑張らないといけないなあという気持ちで、1年間やっていました。

でも、先輩達が引退して、私達の代になると、後輩に負けたくないという気持ちもありましたが、思うようにできず、先輩のようにはうまくもなく、とても悩みました。

声が出てない、やる気がないと、怒られたこともあるし、お前らに教えることはないと言われ、赤星先生が、途中で帰られたこともありました。

そのたびに、自分達は先輩のように上手にできない、何ができるのかと、皆で話し合いました。

でも、そんなことがあったから、みんなでいっぱい悩み、とても団結力ができたんだと、今になって思います。



試合では、PK戦になり、ぎりぎり大阪府中央大会に行けたり、赤星先生には、こんなに冷や冷やさせる代は、ほかにはないというほど、冷や冷やさせたと思います。

勝ったら、赤星先生も、とても喜んでくださり、私も、とても嬉しかったです。

最後の試合は、私達が1年生の時に教えていただいた、江口先生がいらっしゃる、高校との試合でした。

とても熱心に、教えていただいた先生が、相手チームのベンチに座って、教えられているのを見て、すごく悲しくなりながら、試合をした記憶があります。

私は3年間、ハンドをして、後悔したこともありましたが、それ以上に、楽しいことがたくさんあり、ハンド部に入ってよかったと思うことが、たくさんありました。

私が続けてこれたのも、ハンド部の皆がいたからです。

勝った時は、皆で喜んで、負けた時は、皆で悔しくて泣いて、とても良い仲間に出会えて、本当によかったです。

高校生活は、ハンドボール一色でしたが、とても楽しく、充実した高校生活を、送れました。

ハンド部に勧誘していただいた、赤星先生には、とても感謝しています。

ありがとう、ございました。

次は、64期生の中川実咲先輩か、65期生の私達のキャプテン、井上貴子さんをお願いしたいと思います。

< 編集後記 >

①12月年末師走、任期2年を残して、2年振りに衆議院総選挙が行われます。

アベノミクスによる長年のデフレ脱却の評価が焦点とのことですが、この影で、同じく長年の国民の念願であり、日本政府が12月に繰り延べされてしまった北朝鮮の拉致被害者の取り組みが、後退しないかと心配になるところです。

皆さん、国民の権利であります選挙の投票に、行きましょう。

②現在、OB・OG会会員約900名の内、200名弱の方が、住所不明となっております、会報が送れていません。

住所・氏名・電話の変更・訃報等がありましたら、会報に同封の会員日より、返信用封筒（費用受取人負担）、又は、下記メールアドレス事務局まで、ご一報ください。

<事務局> 寺西 啓三（20期）

〒573-0013 枚方市星丘4-12-8

メールアドレス kkteranishi@yahoo.co.jp

TEL 090-5887-8777 FAX 072-849-7237

①「リレー伝言板」では、会員の皆さんを、大体10年単位で8グループに分けて、OB・OGの皆様にご近況やハンドボールへの思い、現役の時の思い出等を自由に語っていただき、同期、先輩、そして後輩へ、リレー形式でつないでもらっています。

②また、掲載された内容についての感想、コメント等（字数制限なし）あなたの熱いメッセージを、OB・OG会メールアドレス kkteranishi@yahoo.co.jp 又は、同封の返信用封筒（事務局・20期寺西）で、お寄せください。

会員の皆さんに紹介をし、会員相互間の親睦の輪を広めていきたいと思っています。

③記事で、次号指名された方には、次号会報発行前にOB・OG会事務局より、原稿依頼の連絡をさせていただきます。

次回は、あなたが指名されるかも…。